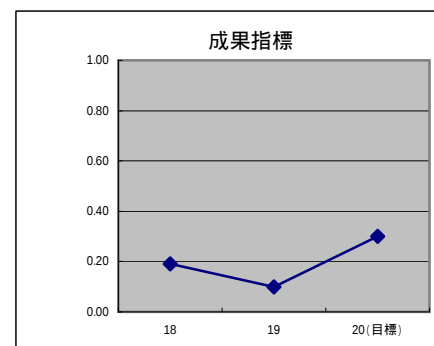
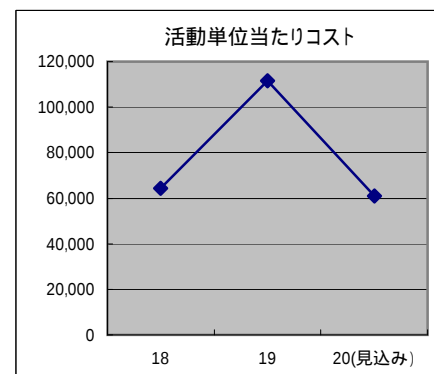


事務事業名		健康優良家庭表彰事業		予算科目	会計	2	国民健康保険特別会計
					款	6	保健事業費
					項	1	保健事業費
					目	1	保健衛生普及費
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	2	健康で生き生きと暮らせるやさしいまち	事業			
	施策(節)	1	保健・医療				
	施策の方向			作成部署 保健福祉部保健健康室保険年金課			
関連する計画等				連絡先	072 - 958 - 1111 内線 1760		
事業の目的	対象(誰を・何を)						
	加入世帯						
	意図(どういう状態にしたいのか)						
	保険給付のない健康な世帯に対し表彰し、健康に対する意識向上を図る。						
事業の内容	長期間、保険給付がない世帯に、表彰状と副賞を授与する。						
根拠法令等							
事業開始時期		☐ 昭和 ☐ 平成 年 月開始 ☒ 明確にはわからない			終了年度	平成 年度	
事業開始時からの状況変化							
市民や議会の要望							
実施手法		☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()					
委託先		☐ 外郭団体委託 ☐ 民間委託		名称			
				委託内容			

区 分		18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込み)
事業費【1】 (千円)		582	362	870
人件費【2】 (千円)		5,220	5,220	5,220
職員数	正規職員	0.60 人	0.60 人	0.60 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.10 人	0.10 人	0.10 人
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費 (【1】 + 【2】) 【A】 (千円)		5,802	5,582	6,090
財源内訳	国費 (千円)			
	府費 (千円)			
	市債 (千円)			
	その他 (手数料・使用料等) (千円)			
	一般財源 (千円)	5,802	5,582	6,090
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		18年度	19年度	20年度(目標)
表彰家庭数 世帯		90	50	100
活動単位当たりコスト (【A】 / 【B】)		64,467 円	111,640 円	60,900 円
市民1人当たりコスト (【A】 / 人口)		48 円	47 円	51 円



成果指標	指標名	指標設定の考え方	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	加入世帯数に対する表彰家庭数割合(%)	全世帯に対する表彰家庭の割合を見る。	目標 0.30	0.30	達成率(%)
	式)		実績 0.19	0.10	33.3%
	式)		目標		達成率(%)
			実績		

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	保険給付のない加入世帯（者）に表彰することにより、保険制度を一部補充する。
								○			

視点	分析のためのチェック点			分析・評価の説明		
	はい	いいえ	該当なし			
妥当性	市民ニーズが高い	☒	☐	☐	健康な加入世帯（者）を表彰することにより、国民健康保険制度への理解を深める。	
	市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	☒	☐	☐		
	社会情勢の変化に対応している	☒	☐	☐		
	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☒	☐	☐		
	国・府の事業と重複していない	☒	☐	☐		
	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	☐	☒	☐		
	緊急性が認められる	☐	☒	☐		
効率性	単位コストが適切である（経年、他市比較など）	☒	☐	☐	健康意欲の増進に繋がっている。	
	受益者負担の割合は適当である	☒	☐	☐		
	人員を削減する余地がない	☒	☐	☐		
	事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐		
	簡略化できる方法や手段がない	☒	☐	☐		
	市の他事業と重複していない	☒	☐	☐		
	民間活力（民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど）の活用について検討の余地がない	☒	☐	☐		
有効性	上位の施策（目的）が明確である	☒	☐	☐	保険料の未納がないことも条件の一つとしており、納付に対する有効性のある。	
	上位の施策（目的）への貢献度が高い事業である	☒	☐	☐		
	成果を向上させる余地がない	☒	☐	☐		
	市民の視点にたってサービスが提供されている	☒	☐	☐		
協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	☐	☐	☒		
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	☐	☐	☒		
	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	☐	☐	☒		
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている	☐	☐	☒		
達成度	成果指標の目標値は適正である	☐	☐	☒		
	成果指標の実績値は目標値以上である	☐	☐	☒		
	成果指標は前年度より向上している	☐	☐	☒		

担当 部局 評価	総合評価	
	☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了	
	評価の理由	
	健康である、健康意識の高い被保険者、世帯を表彰することにより健康保険制度への理解を補完することができる。	
	今後に向けて（取組方針、具体的な改善改革案など）	
	健康保険制度への理解・周知のため、表彰取り組みは効果は高い。	